

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2016年7月 検針分)

2016年2月～2016年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2016年7月 検針分の単位料金は2016年6月 検針分に比べて、1m³(45MJ)当り
▲ 3.0996 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 ▲ 80 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2016年6月 (A)	2016年7月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	219.8123	216.7127	▲ 3.0996
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	161.8188	158.7192	▲ 3.0996

●平均原料価格

	単位	2016年1月 ～ 2016年3月	2016年2月 ～ 2016年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	46,040	42,480	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	43,300	39,600	
平均原料価格	円/トン	46,100	42,520	58,510

平均原料価格=LNG平均価格×0.9491+LPG平均価格×0.0556

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が93,620円以上となった場合は93,620円

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき)
= 58,510 - 42,520 = 15,900 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 - 0.082×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2016年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	230.7938	216.7127	▲ 14.0811
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	172.8003	158.7192	▲ 14.0811

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	2016年6月 (A)	2016年7月 (B)	影響額 (B)-(A)
26	6,338	6,258	▲ 80

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)